

第2期境港市総合戦略の概要について（本編 P1～P7）

1. 策定の趣旨

第1期総合戦略で目指した、“重要課題である人口減少と地域経済縮小を克服し、魅力と活気にあふれ、心豊かに安心して暮らせる「境港市」”を構築するため、「継続を力」にし、本市の特性・魅力を活かした施策を充実・強化するとともに、SDGsの理念や関係人口の創出といった新たな視点も取り入れながら、重要課題に一体的・持続的に取り組んでいくため、第2期総合戦略を策定することとします。

2. 対象期間

2020年度（令和2年度）～2024年度（令和6年度）までの5年間

3. SDGsの理念の取り込み

SDGs（持続可能な開発目標）は、人類及び地球の持続可能な開発のために国連において採択された2030年までに達成すべき課題とその具体的な目標であり、本総合戦略においては、17分野の目標を概ね施策に取り込みSDGsの達成を目指します。

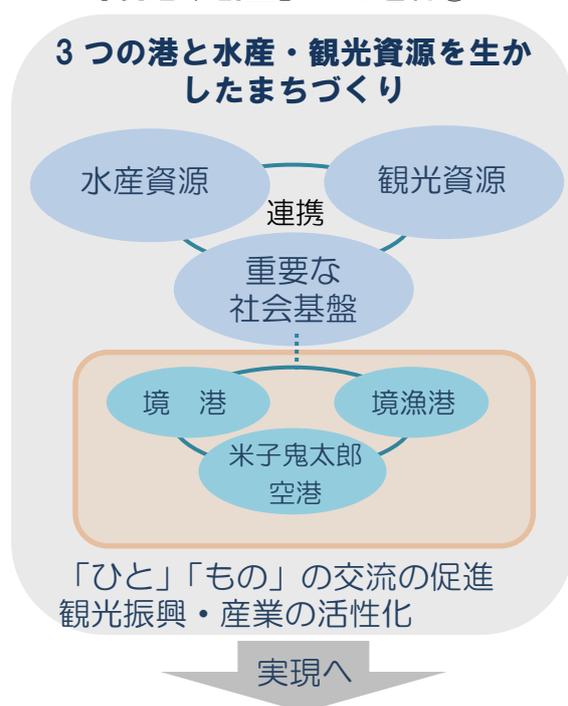
4. 取組の基本的方向と基本目標（本編 P5～P7）

「第2期総合戦略」では、「第1期総合戦略」の「2つの道筋と2つの視点」という取組の基本的な方向と、これに基づく3つの目標を引き継ぎ、取り組みます。

(1) 2つの道筋と2つの視点

ア. 2つの道筋

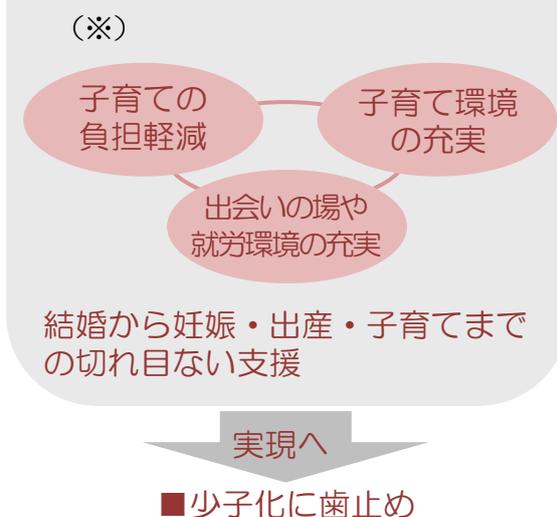
『境港市創生』への道筋①



- 雇用拡大
- 移住・定住の促進

『境港市創生』への道筋②

「子育てするなら境港」を標榜した子育て環境づくり



※第1期では「保育料軽減/子育て拠点施設の整備/子ども・子育て支援事業の計画」

イ. 2つの視点

(ア) 市民参画による『協働と改革』

(イ) 中海・宍道湖・大山圏域が一体的な発展を目指す『連携と共栄』

(2) 基本目標

2つの道筋を基本目標とし、あわせて、「圏域の目標」を設定します。

圏域の目標「県境を越えた広域連携による住みたくなる圏域づくり」

※第1期では「県境を越えた広域連携による魅力ある圏域づくり」

基本目標① 3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり

(1) 産業振興・雇用創出

- ①国内外への市場拡大及び新商品開発支援
- ②農業・水産業の担い手育成・確保
- ③企業誘致及び起業・創業の拡大

(2) 観光の振興

- ①観光地の魅力度向上による滞在型観光の推進
- ②外国人観光客の誘客促進
- ③米子鬼太郎空港・DBSクルーズフェリーの利用促進

(3) 社会基盤の整備

- ①境漁港の高度衛生管理型市場の整備（県実施事業）
- ②港湾の整備拡充と賑わいづくり（※）
- ③米子～境港間の高規格幹線道路の早期実現
- ④境港出雲道路の早期実現

※第1期より「竹内南地区の国際貨客船ターミナル整備（国土交通省・境港管理組合実施事業）」を削除

(4) 移住・定住の促進

- ①移住・定住の促進・情報発信の充実

基本目標② 「子育てするなら境港」を標榜した子育て環境づくり

(1) 少子化対策・子育て支援

- ①出会いの場の創出
- ②安心な妊娠出産環境・子育て支援の充実

(2) 女性活躍の推進、ワーク・ライフ・バランスの啓発・支援

- ①ワーク・ライフ・バランスの啓発・支援
- ②女性の就労環境充実のための家庭介護負担の軽減

圏域の目標③ 県境を越えた広域連携による住みたくなる圏域づくり

(1) 中海・宍道湖・大山圏域市長会としての取組

- ①国内外を視野に入れた力強い産業圏域の形成
- ②未来をひらく交通ネットワークの形成
- ③恵まれた生活環境を生かした圏域の形成

※圏域の目標は、中海・宍道湖・大山圏域市長会の第2期総合戦略と記載を合わせる形で修正